

令和2年度 西糀谷しろはと保育園 事業計画

1. 概要

①運営方針

- 大田区では待機児解消を図るため、認可保育所をはじめ小規模保育所、認証保育所などの開設を来年度も進めています。
- 東京都の木育事業計画を継続し、子どもたちが木や森林への理解が深まり、身近な存在として感じ、五感が豊かな乳幼児期に、自然に触れ体感し健やかな成長を促すように保育に取り入れていきます。
- 職員の働き方改革関連法が施行され、当園でも遵守し見直して人材の定着に努めるとともに、常勤非常勤などの働き方を改善し離職防止に努めます。そこで、令和2年度よりICTを活用し、職員の保育事務の効率化を図ります。
- 職員の質の向上を目指し、組織として園内研修を充実し職員のやりがいを構築していきます。さらに、園外研修へ参加し知識や技術の向上を目指すとともに、その力を地域支援の充実に向けて、リーダーの育成をします。さらに、職員の質の向上を目指し、大田区でキャリアアップ研修を実施しくため当園の職員も研修参加の計画をしています。

①定 員 129名

②事業日数 295日（年末保育の12月29日、30日を含む）

③開園時間 月曜日～土曜日 7時15分から20時15分
年末保育期間 7時30分から18時30分

④保育時間 早朝保育 7時15分から 8時30分
通常保育 8時30分から18時15分
延長保育 18時15分から20時15分

⑤職員数 園長 1名、主任保育士 1名、保育士 19名
パート保育補助 7名、看護師 1名、嘱託医（内科医1名 歯科医1名）

2. 保育運営

①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、学び合う子ども社会の中で、成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性、人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

- 子どもたちが生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し人として「生きる力」を育む
- 働く保護者と信頼関係を築き、安心して預けられる保育の場を提供する
- 地域における子育て支援のため、保育に関する相談や助言の役割を果たす

③保育目標

1. 心身ともに、健康な子
2. 友だちと助け合える子
3. 失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジできる子
4. 優しさのある子

④クラス編成及び職員配置

0歳児	おたまじゃくし組	12名	保育士4名	看護師1名
1歳児	めだか組	18名	保育士4名	
2歳児	かに組	24名	保育士4名	
3歳児	かえる組	25名	保育士2名	
4歳児	とびうお組	25名	保育士2名(非常勤1名)	
5歳児	くじら組	25名	保育士2名	

主任保育士1名

障害児担当加配保育士 1名 (有資格者・パート)

産休職員分派遣保育士1名

早朝・延長保育担当保育補助9名

園児 計129名 保育士 29名

⑤保育内容

- 子どもの姿を捉えた環境構成や援助の仕方など、小グループでの保育を行います。また、新保育指針を基に一人一人の育ちを考慮した養護と教育が一体となった保育を確立していきます。
- 異年齢交流や世代間交流の中で、子どもの保育環境を豊かにして人と関わる力や思いやりをはぐくむ保育を進めます。
- 子どもたちの体力とコミュニケーション能力の向上のため安田式運動遊具を使った運動遊びと外部講師による週1回の体育遊びを日々の積み重ねとして丁寧に取り組みます。
- 子どもの表現力を豊かにする造形遊びの取り組みを木育活動と連動しながら継続して実施して行きます。
- 食育計画に基づき、給食委託業者と連携を図り、子どもの食への興味や関心を深めるように食育活動として『見る・触れる』等の実体験を中心とした野菜の栽培やクッキングなどの食育指導を実施します。さらに本やパネルなどを使用しながら食の大切さを知らせます。

- 保育指針や保育業務マニュアルを基に子どもの人権尊重と最善の利益について職員で確認しながら保育内容を見直し、子どもが健康で安全で情緒の安定した生活が出来る環境づくりを進めます。

⑥家庭との連携

- 保育理念、保育目標をクラス懇談会（年2回）、個人面談（年1回、また随時受け付ける）、保育参観または保育参加を（年1、2回）の際に説明し、保護者が安心できる保育園をめざし内容の充実を図ります。また、4月当初に年長児の保護者を中心に就学に向けての講演会を実施し家庭と共に子どもの育ちを援助します。
- 保護者からの要望や意見は、行事や保護者会の後に必ずアンケートを取り、結果を保護者にフィードバックします。さらに年間の利用者アンケートを実施します。
- 保護者の危機管理意識を高める為に、保護者と共に4月に研修を実施し、防災や減災について園の方針を伝え、協力の依頼します。

⑦地域の実態に対応した事業

- 子育て支援「よちよちタイム」を毎月1回・お年寄りとの交流を月に1回の予定で実施します。その際はボランティアの活用や自治体の補助金を利用しながらベビーマッサージ、バランスボールなどの育児講座と共にコンサートや人形劇を計画し、保護者の気分転換や育児不安の軽減を図る内容を取り入れた地域支援をします。
- 大田区の出張所や児童館の掲示板や地域の回覧板などを活用して情報発信するとともに、ホームページの改善や園の掲示板を工夫をしながら情報収集しやすい内容にします。
- 近隣の公立保育園との三園交流を5月から2月の間毎月1回実施します。また、保幼小と連携し卒園後も継続して子ども達との関わりを持ち支援が行なえるように行事等への参加の呼びかけをします
- 夏祭りや町会行事などに参加し、交流を通じて地域の身近な保育園となるように努めます。

地域社会資源との連携

- 地域小中学校と交流（職場体験、学校訪問、運動会の実施、）を定期的に行うとともに、災害時の対応（避難場所の提供など）について地域と連携して取り組みます。
- 地域行政、民生委員、保健師などと連携を強化し育児困難家庭の支援につとめ、子どもの権利を守ります。
- 保護者や地域、職員の意識向上を図るために大田区の危機管理課に依頼し、防災教育を実施します。

⑧小学校との連携

- 保幼小連絡協議会での意見交換や情報交換、就学支援シート、保育要録を通じて園児の引継ぎを丁寧に行います。また、小学校の授業参観や展覧会、発表会などへの参加などを通して交流を行い、スムーズな学校生活が行えるようにします。

⑨人材育成

- 大田区の実践力強化研修や乳児保育、障害児保育、公開保育などへの参加とともにキャリアアップの研修を意識した個別の研修計画を策定し、日常保育に必要な課題を設けて基本的な知識や技術の向上を図ります。
- 保育所保育指針を元に子どもの発達過程を確認し、年2回の自己評価をしながら保育の見直しを行います。また「子どもを尊重する保育」を基本に人権擁護のためのセルフチェックを行いながら、職員の専門性の向上を目指していきます。
- 職員全体が保育に対する意識を共有し進めていくことが出来るように定期的なリーダー会を実施し保育内容の統一を図るとともに、職員研修計画を基にリーダーが新人職員の指導育成を行います。その他危機管理研修、安田式遊具の運動遊び、支援の必要な子どもへのかかわり方、遊びを通した子どもの発達などの研修を実施していきます。
- 看護師の年間計画を基に、感染症やAEDの使用方法について定期的に訓練します。また、救急救命2級の更新に向けて消防署に依頼し講演と実施訓練、さらに、危機管理について園内研修を継続し、職員の危機管理意識の向上に取り組みます。
- 乳児を中心とした保護者への食事指導や離乳食指導を計画的に進めるとともに、保護者指導の方法、子どもの食事指導を中心として栄養士に依頼し研修と実践を行います。

⑩苦情処理

- 第三者委員2名を設置し、委員の所属、連絡先を記入したポスターの掲示を行い保護者からの意見や苦情に対応します。
- 「みんなの声」と名付けた保護者の意見箱を設置するとともに、苦情や意見を口頭で伝えてくれるような職員と保護者の関係を築き上げていきます。
寄せられた意見については回答書を概ね24時間以内に配布し、協議中の議案については、経過報告をして保護者の不信感が募らないように迅速に対応します
- 保護者の必要とする情報は、丁寧に繰り返し伝える工夫を心掛けるとともに、クラスでのトラブルや事故については、クラスのみではなく園長や主任がさらに対応し、クラスと保護者の信頼関係を深めるように努めます。

⑪リスクマネジメント

- 大田区で実施している年1回の施設点検（建築、設備）と共に、各クラスの環境の安全点検を月1回実施し、職員のリスクマネジメントに対する意識を高めます。また、職員の危険予測の能力を高める為、園内研修の中で具体的に事例を挙げて研修をします。
- 防災計画に基づいた避難・消火訓練を月1回実施し、災害などの非常事態の発生に備えて保護者への連絡方法（一斉送信メールの活用など）職員の体制、避難経路などマニュアルの見直し確認を行い職員に周知します。また、食糧や救急用品など備蓄品についての点検を月に一度あるいは必要に応じて実施します。さらに、備蓄品を年長、年中のみ個人用を購入して頂きそれを非常時に各自持ち避難する訓練を実施します。

- 社会福祉施設における災害時に備えたライフラインなどの点検やBCP（災害時の事業継続ができる計画）についての改善が出されています。新たに規定された「災害への備え」を基盤に定期的な確認、見直しを行います。
さらに、洪水時の避難確保計画の作成と同時に職員への周知を徹底していきます。
- 職員と保護者も含めた、防災の研修を実施し意識を高めるとともに、災害時の緊急連絡体制「メルポコ」への登録依頼をお願いします。
- 日常の小さな事故の記録を継承し、職員の安全保育への意識を向上させ事故や怪我の減少に努め保育のあり方をチェックできる仕組みを構築します。
- 食の安全の視点から給食委託業者と、アレルギー事故の防止や異物混入、給食提供方法などについて確認、見直を毎月実施します。衛生面や味などについて事業者と連携を取りながら給食提供を行ないます

⑫その他

- 幼児手洗い場の周りの黒ずみ、床のシートの破損があり工事を予定しています。
見積もり 224 万予定
- 職員の事務の効率化を考えてW i - F i 工事予定。（リース契約予定）
見積もり 50 万円予定



西糀谷しろはと保育園

2020 年度年間行事予定

月	行事	保護者参加行事	地域活動
4月	進級式 1日(水) 入園日 1日(水) 造形 24日(金)	入園日 1日(水) 新入児オリエンテーション 防災講演会 3日(金) くじら組保護者会 25日(土)	
5月	こどもの日の集い 8日(金) (3・4・5歳児) エール体育遊び 26(火) 歯科検診 21日(木) パネルシアター 22(金) 健康診断 18(月) 25(月) トムテ 日(金)	かに・かえる組保護者会 16日(土) めだか・とびうお保護者会 30日(土) パネルシアター 22日(金)	こどもの日の集い ベビーマッサージ
6月	人形劇 日(木) プール開き 日(木)	おたまじゃくし組保護者会 6日(土)	人形劇 日 ベビーマッサージ
7月	七夕夏祭り 2日・3日(金) パネルシアター 17日(金)	夏祭り 2・3日(木)(金) 木育 パネルシアター 17日(金)	夏祭り 夏の健康教育 パネルシアター
8月	サマーコンサート・・・未定		サマーコンサート
9月	防災の日 1日(火) プール締め 3日(木) ぽかぽか交流会 日(金) パネルシアター 4日(金)	引取り訓練 1日(火) パネルシアター 4日(金) 運動会 26日(土)	パネルシアター バランスボール 運動会
10月	エール体育遊び 13日(火) トムテ 1日 園外保育 16日(金) 交通安全教室 日(木) さんまの食育 日	トムテ 1日(木)	バランスボール
11月	いもほり やきいも パネルシアター 27日(金)	保育参加 個人面談 パネルシアター 27日(金)	やきいも 健康教育 バランスボール パネルシアター
12月	生活発表会 5日(土) クリスマスコンサート 18(金) お楽しみ会 22日 餅つき会 24日(木)	くじら組保護者会 5日(土) 生活発表会 5日	もちつき クリスマスコン サート
1月	新年子ども会 8日(金) パネルシアター 22日(金) トムテ 25日(月)	おたまじゃくし組保護者会 22日(金) かに・かえる・とびうお保護 者会 30日(土)	パネルシアター 新年子どもかい トムテ 25日
2月	節分 3日(水)	めだか組 5日(金)	節分
3月	ひなまつり 3日(水) 新入児健診 2日(火) 年長児とのお別れ遠足 5日(金) 卒園式 13日(土) パネルシアター 19日(金) 26日(金)	卒園式 13日(土) 新入児健康診断 2日(火)	パネルシアター ひなまつり

※ 毎月・・・計測 避難訓練 0歳児健診の実施 ※その他 歯みがき指導 (年間2回)

※ ボランティアの活用 ※木育活動

※ 造形遊び (月1回)・体育遊び (週1回)・英語で遊ぼう (週1回) 実施